ビッグスロットルボディーキット　取扱説明書

製品番号	03-05-0125

適応車種及びフレーム番号	GROM(JC61-1000001 ～)
	MSX125(MLHJC618_D5000001 ～)
対象シリンダーヘッド	スーパーヘッド 4V+R

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

■特徴

■スーパーヘッド 4V+R ボアアップキットの性能を最大限に引き出し、ノーマルスロットルボディーでは不可能な高出力を可能とします。
■ノーマルエアクリーナーボックスへ接続出来る専用大口径コネクティングチューブ付属。

●ご使用前に必ずお読み下さい

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付けできませんので御注意下さい。
◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナットは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎このパーツはクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。
（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）
◎スーパーヘッド 4V+R、ビッグスロットルボディーに対応した FI コン 2（インジェクションコントローラー）の別途購入が必要になります。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
■エンジンの回転中は、スロットルボディ吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。（火炎が噴射することがあり、大変危険です。）

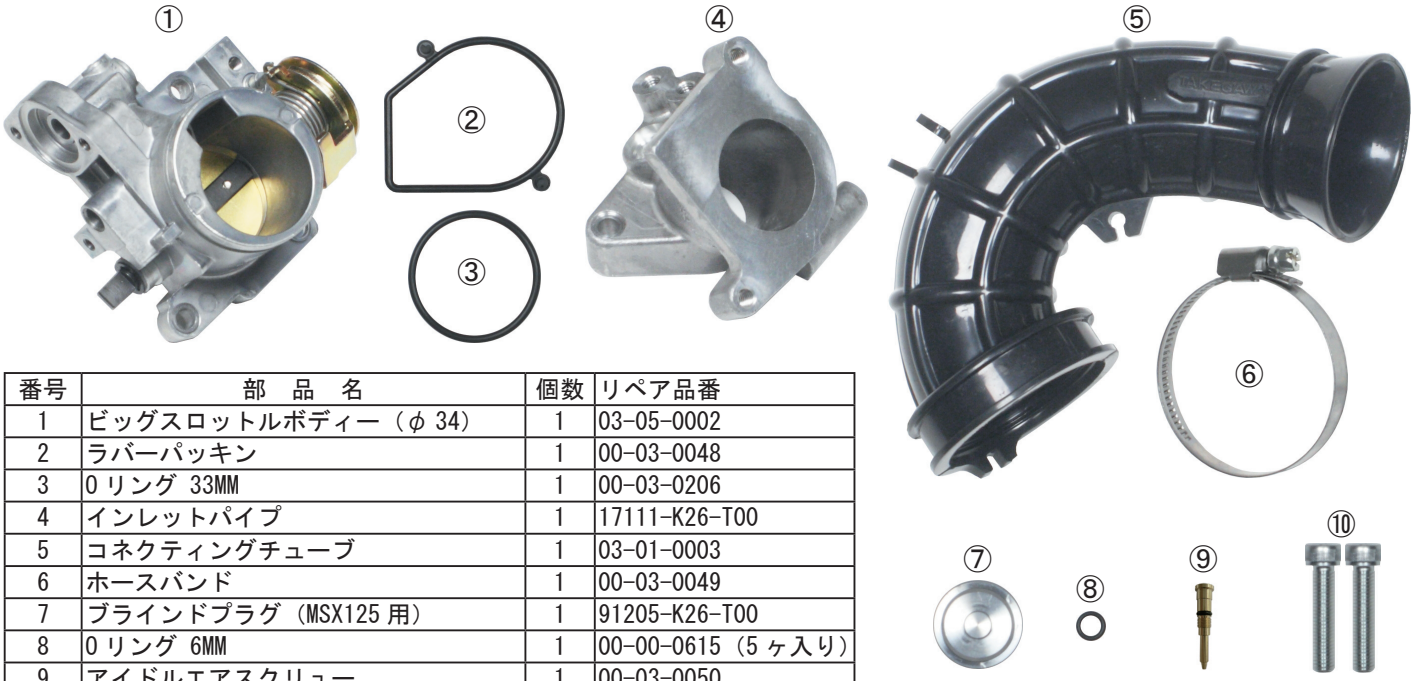
⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。
■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法などが守られていない場合は、この限りではありません。また、修理や交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒 584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

製品内容



番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	ビッグスロットルボディー（φ 34）	1	03-05-0002
2	ラバーパッキン	1	00-03-0048
3	O リング 33MM	1	00-03-0206
4	インレットパイプ	1	17111-K26-T00
5	コネクティングチューブ	1	03-01-0003
6	ホースバンド	1	00-03-0049
7	ブラインドプラグ（MSX125 用）	1	91205-K26-T00
8	O リング 6MM	1	00-00-0615（5 ヶ入り）
9	アイドルエアスクリュー	1	00-03-0050
10	ソケットキャップスクリュー 6X30	2	00-00-0090（5 ヶ入り）

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

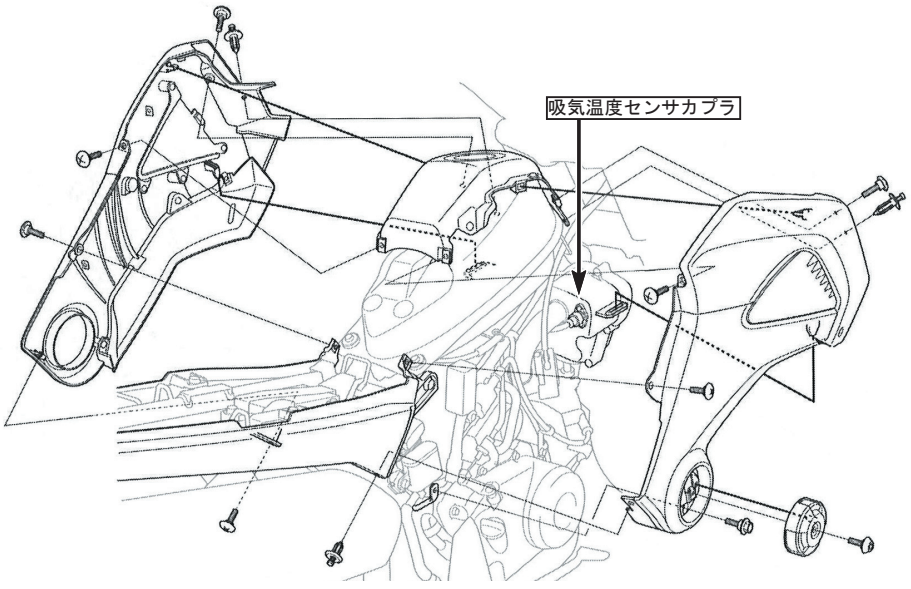
■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■はじめに
作業は水平で安全な場所で、メンテナンススタンドをかけるなどして、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

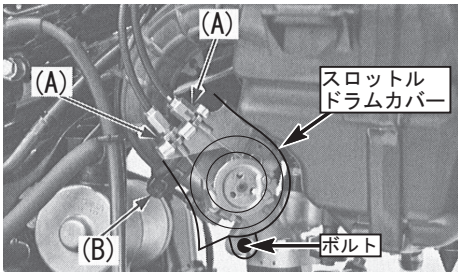
⚠ 注意
本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

ノーマル部品の取り外し

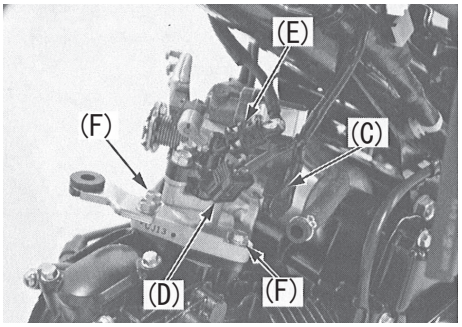
サービスマニュアルを参照し、シュラウド、エアクリーナボックス、スロットルボディーを取り外します。GROM の場合は吸気温度センサカプラの接続を外します。



ボルトを外し、スロットルドラムカバーを取り外します。スロットルケーブルロックナット（A）を緩めます。ケーブルブラケットとスロットルドラムからスロットルケーブルを外します。
コネクトホースバンドスクリュ（B）を緩め、エアクリーナコネクトホースの接続を外します。

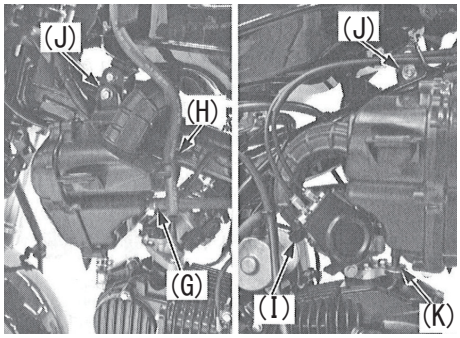


スロットル開度センサカプラ（C）、フューエルインジェクタカプラ（D）、クイックコネクタ（E）の接続を外します。
ボルト（F）、スロットルボディーを取り外します。

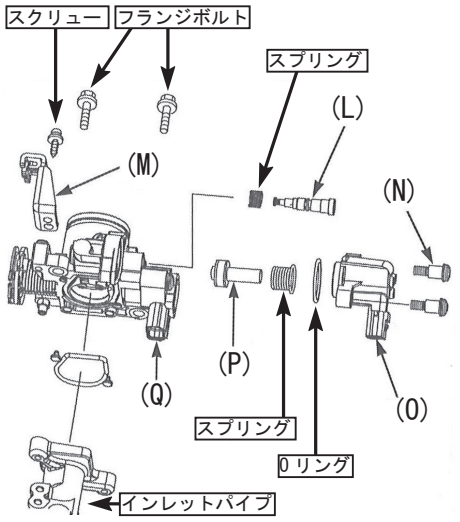


■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

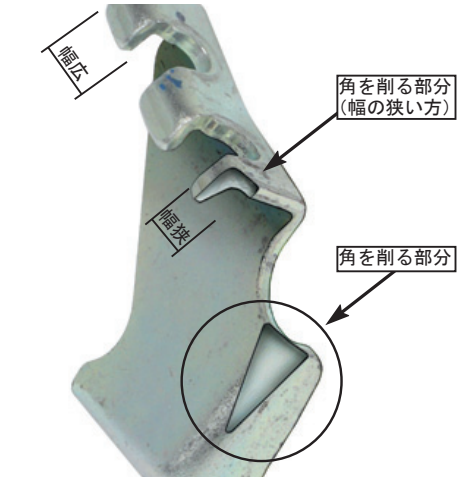
クランクブリーザーホース（G）、フューエルブリーザーホース（H）の接続を外します。
コネクトホースバンドスクリュー（I）を緩め、スロットルボディーからコネクトホースの接続を外します。
ボルト（J）を取り外し、エアクリーナケースステイからタブ（K）を外します。



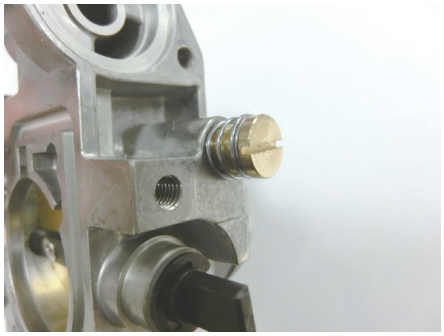
フランジボルトを外し、ノーマルスロットルボディーを取り外します。
ノーマルスロットルボディーより、アイドルエアスクリュー（L）、スプリング、スロットルケーブルブラケット（M）、トルクススクリュー（N）、ファストアイドルソレノイドバルブ（O）※MSX125にはありません、スプリング、バルブシート（P）、Oリング、スロットル開度センサー（Q）を外します。



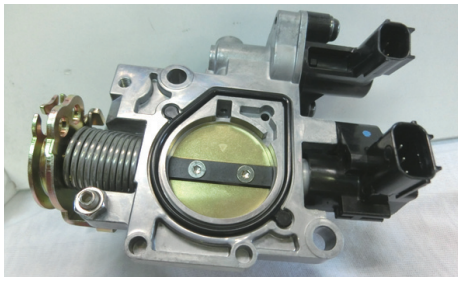
スロットルケーブルブラケットは下写真の様に1mm～2mm程度角を削り、エアクリーナボックスとの干渉を回避します。
※削りすぎに注意して下さい。



キット付属のアイドルエアスクリューに、純正アイドルエアスクリューから取り外したスプリングを取り付け、全閉状態から2回転緩めます。

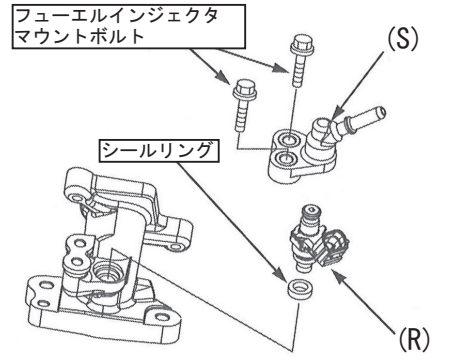


取り外したパーツをビッグスロットルボディーに取り付け、規定トルクで締め付けます。



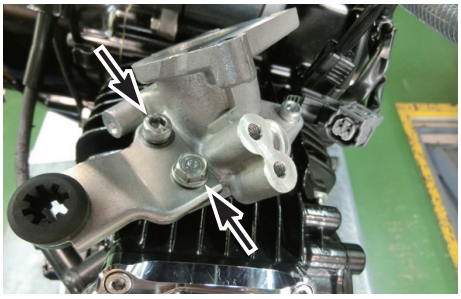
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
アイドルソレノイドバルブトルクススクリュー（N）
トルク：3.4N・m（0.3kgf・m）
スロットル開度センサートルクススクリュー
トルク：3.4N・m（0.3kgf・m）
スロットルケーブルブラケットスクリュー
トルク：3.4N・m（0.3kgf・m）

ノーマルインテークパイプより、フューエルインジェクタジョイントマウントボルト、フューエンインジェクタ（R）、シールリング、フューエルインジェクタジョイント（S）を取り外します。



キット内のインレットパイプにOリングを取り付けます。

ソケットキャップスクリュー6×30、ノーマルフランジボルトを使用し、シリンダーヘッドにインレットパイプ、エアクリーナーステーの順に取り付け、規定トルクで締め付けます。

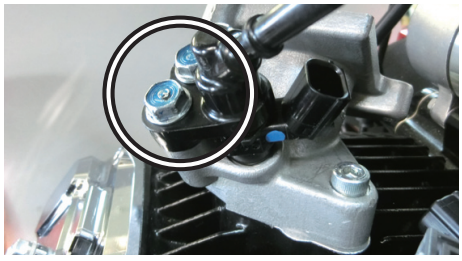


⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー・フランジボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

FI CON2に同梱されている弊社製インジェクター（弊社品番：16450-K26-T00）上部のOリングとシールリングに薄くオイルを塗布します。

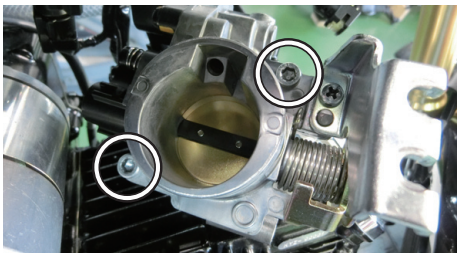
ノーマルフューエルインジェクタジョイントマウントボルトを使用し、インレットパイプにインジェクタフューエルインジェクタジョイントを取り付け、規定トルクで締め付けます。

■警告
必ずノーマルフューエルインジェクタジョイントマウントボルトを使用して下さい。
不適切なボルトの使用は、ノーマルインジェクタジョイント脱落の原因となり、重大な事故につながる恐れがあります。



⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フューエルインジェクタジョイントマウントボルト
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

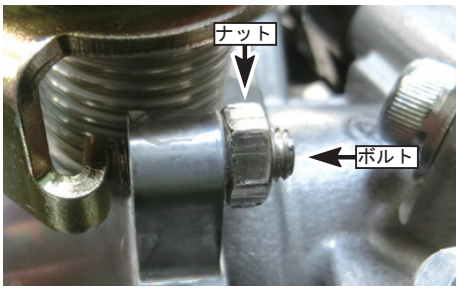
ソケットキャップスクリュー6×25を使用し、ビッグスロットルボディーをインレットパイプに取り付け、規定トルクで締め付けます。



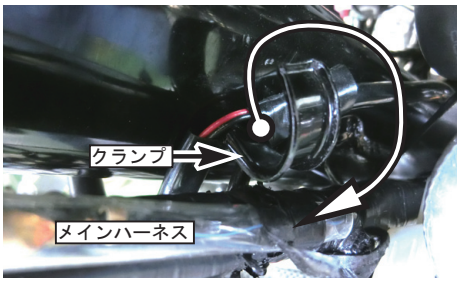
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：12N・m（1.2kgf・m）

■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

スロットルプーリー下部のボルトを回し、スロットルプーリーに干渉した箇所から更に 1/4 回転させナットを締め付けます。



メインハーネスをフレームのクランプから外します。



スロットル開度センサカプラ、フューエルインジェクタカプラ、クイックコネクタを接続します。

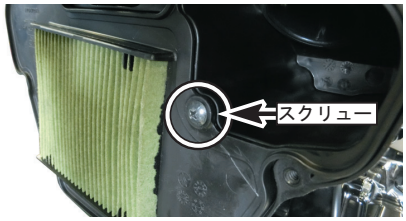
MSX125 に使用する場合は、ファストアイドルソレノイドバルブの代わりにブラインドプラグの取り付けが必要になります。キット付属のブラインドプラグに O リング 6MM を取付けます。

ブラインドプラグ、ストッパプレートの順に取り付け、規定トルクで締め付けます。

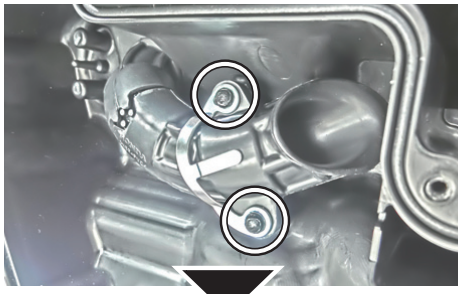
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク ：3.4N・m（0.3kgf・m）

スクリュー 8 本を取り外し、エアクリーナーケースカバーを取り外します。

スクリュー、純正エレメントを取り外します。

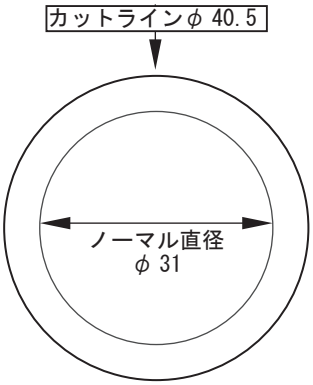


エアクリーナボックス内の下写真で示す箇所をカットし、各チューブを取り外します。



コネクティングチューブ取り付け穴に付属の型紙を宛がい拡大加工します。
位置きめ用のピンも切除しバリをきれいに除去して下さい。

型紙（原寸大）

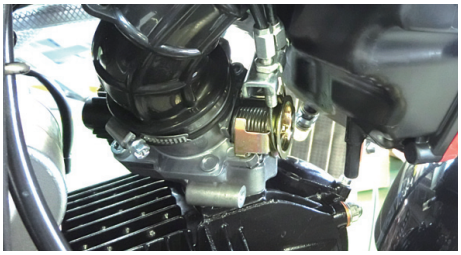


キット内のコネクティングチューブを取り付けて下さい。
※弊社製パワーフィルター：(03-01-0001)、
大口径エアダクト：(03-01-0002) の併用を推奨します。

逆手順でエアクリーナケースを組み立てます。

コネクティングチューブをスロットルボディーに合わせながらエアクリーナケースを車体に取り付けます。

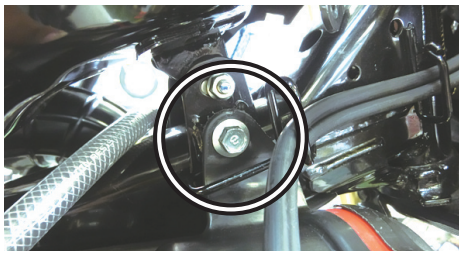
コネクティングチューブの溝部とスロットルボディーのボスを合わせ、ホースバンドを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ホースバンド
トルク ：3N・m（0.3kgf・m）

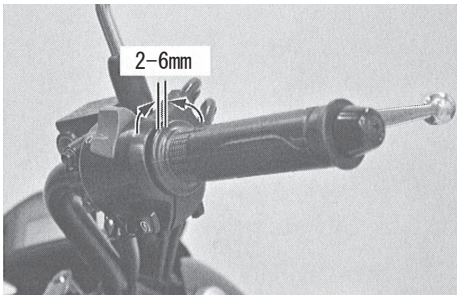
■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

ノーマルフランジボルトを使用し、エアクリーナケースを規定トルクで締め付けます。



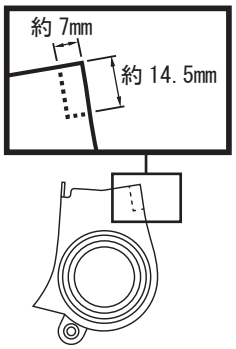
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

スロットルケーブルを取り付けスロットルグリップフランジでグリップの遊びを測定します。
遊び：2-6mm



※ハンドルを左右いっぱいに切り、回転数が上がる場合はスロットルケーブルの取り回しを確認し、再調整を行って下さい。

スロットルドラムカバーを写真のように切断し、エアクリーナケースとの干渉を回避します。



切断したスロットルドラムカバーを取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m（0.5kgf・m）

■取り付け要領　※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

スロットルボディを交換することにより､エンジンコントロールユニットの初期化が必要になりますので､下記手順に従い初期化を行って下さい。

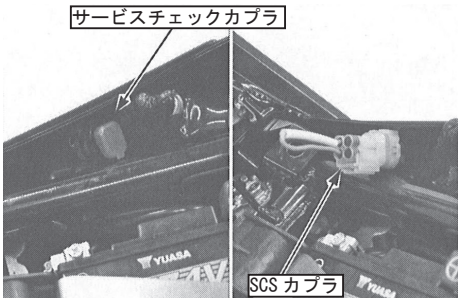
エンジンコントロールユニットにDTCが保存されているとスロットル開度センサーのリセット、エンジンコントロールユニットの初期化が出来ませんのでDTCを消去します。

DTCが保存されていない場合は「スロットル開度センサーのリセット」の項目から作業を開始してください。※DTC＝診断トラブルコード

■保存されたDTCの消去

①メインスイッチをOFFにし、シートを取り外します。

②サービスチェックカプラ、カプラカバーを取り外し、専用工具を使用してサービスチェックカプラの端子を短絡します。
専用工具が無い場合は手持ちのリード線を用いて赤色のカプラの青色コードと緑/黒色コードを短絡させます。
SCSカプラ：ホンダ純正品番070PZ-ZY30100



③メインスイッチをONにします。

④サービスチェックカプラからSCSカプラ、またはリード線の接続を外します。

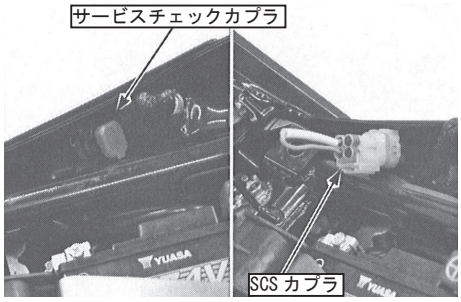
⑤PGM-FI警告灯が点灯してから（リセット受信点滅パターン）約5秒以内にサービスチェックショートカプラまたはリード線をサービスチェックカプラに再接続します。

⑥PGM-FI警告灯が消灯して点滅を開始した場合（完了パターン）、保存されたDTCは消去されています。
※必ずPGM-FI警告灯の点灯中にサービスチェックカプラまたはリード線を短絡させて下さい。手順が正しくない場合、PGM-FI警告灯は消灯した後に点灯状態となる（失効パターン）。この場合、メインスイッチをOFFにして再度作業を行います。
PGM-FI警告灯が点滅を開始する前にメインスイッチをOFFにした場合、自己診断メモリは消去されないので注意して下さい。

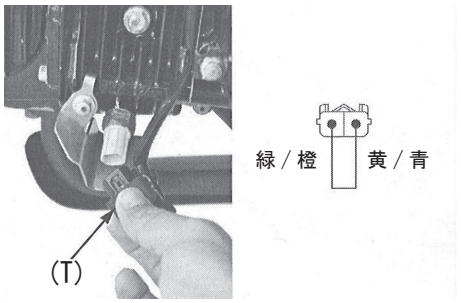
■スロットル開度センサーのリセット

①メインスイッチをOFFにし、シートを取り外します。

②サービスチェックカプラからカプラカバーを取り外し専用工具を使用してサービスチェックカプラの端子を短絡します。
専用工具が無い場合は手持ちのリード線を用いてカプラの青色コードと緑／黒色コードを短絡させます。
SCSカプラ：ホンダ純正品番070PZ-ZY30100



③油温センサ2P（黒）カプラ（T）の接続を外し、ワイヤ側カプラ端子を手持ちのリード線を用いて短絡します。
接続：黄/青 ー 緑/橙



④メインスイッチをONにすると、PGM-FI警告灯が点滅を開始するので、10秒以内に油温センサ2P（黒）カプラからリード線の接続を外します。（リセット受信点滅）

⑤リード線を外すとPGM-FI警告灯が点滅を開始すれば完了です。（リセット完了）
10秒経過してもリード線が接続されている場合、PGM-FI警告灯は点灯したままになります。（リセット失敗パターン）再度作業を行って下さい。

⑥メインスイッチをOFFにし油温センサ2P（黒）カプラを接続しサービスチェックカプラから専用工具の接続を外しダミーカプラをサービスチェックカプラに取り付けます。

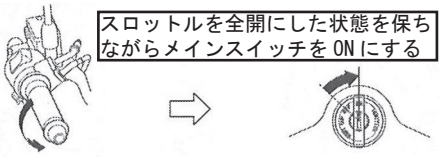
⑦取り付けは取り外しの逆手順で行って下さい。

■エンジンコントロールユニット初期化

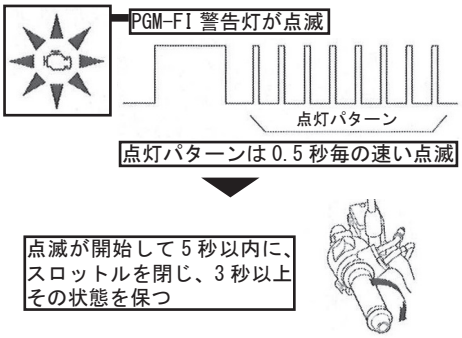
①メインスイッチをOFFにし、シートを取り外します。

②サービスチェックカプラからカプラカバーを取り外し､専用工具を使用してサービスチェックカプラの端子を短絡します。専用工具が無い場合は手持ちのリード線を用いてカプラを短絡させます。
SCSカプラ：ホンダ純正品番070PZ-ZY30100

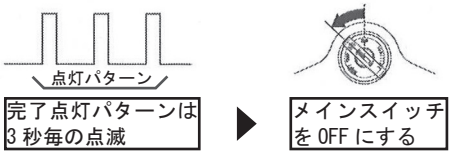
③スロットルグリップを全開にしながらメインスイッチをONにします。



④PGM-FI警告灯が点灯し、速く点滅し始めます。点滅が開始して5秒以内にスロットルグリップを閉じ、3秒以上その状態を保ちます。



⑤エンジンコントロールユニットの初期化が完了するとPGM-FI警告灯は3秒毎の点滅を繰り返します。完了パターンが確定されたらメインスイッチをOFFにします。



※PGM-FI警告灯が速く点滅し始めない場合はメインスイッチをOFFにして上記手順を繰り返します。
※手順をやり直せない場合はエンジンコントロールユニットにDTCが保存されていないか再確認します。
※DTCが保存されていないにも関わらず手順をやり直せない場合は、エンジンコントロールユニットを良品と交換して手順を繰り返します。

⑥サービスチェックカプラから専用工具またはリード線の接続を外しダミーカプラをサービスチェックカプラに取り付けます。

⑦FIコン2の取扱説明書を参照し、エンジン回転数を確認します。

⑧アイドルエアスクリューを標準開き回転数を基準に回して指定のエンジンアイドリング回転数に調整します。